教育行政執行方針 要約



【教育委員会改革について】

昨年度より「今金町教育委員会外部評価委員会」を全国に先駆けて組織してまいりましたが、本年度は5名体制で教育委員会における政策評価をすすめ、さらに開かれた教育委員会を目指してまいります。

教育基本法の改正に伴い、学校教育の体制強化が求められていることから、本年4月より指導主事を配置し、今金幼稚園、今金小学校及び今金中学校における教育課程、学習指導など専門的事項の計画的な推進と重点的な指導に努めてまいります。

■学校教育

1確かな学力を育む

教育課程の編成と実施

「北海道学校改善支援プラン」を参考に学習方法の再検討や授業の改善のほか、小学校・中学校間の密接な連携にも取り組んでまいります。

2学校支援地域本部事業の推進

学校とボランティアとの連絡調整を行う地域コーディネーターのもとに学校が必要とする支援活動などを行います。今年度は町内の小中学校で実施するとともに美利河小学校を重点地区として推進してまいります。

3教職員の資質・指導力の向上

校長のリーダーシップのもと組織的に取り組むことのできる研修計画を作成し学校課題の解決を目指した校内外研修などに取り組んでまいります。

4今後の学校配置と山村留学

美利河山村留学協議会の設立20周年記念式典及び記念事業の運営について支援してまいります。また、山村留学については、平成24年度まで学校を存続し、山村留学の特色を生かした教育が継続されるよう今後の地域支援も視野に推進してまいります。

5特別支援教育の推進

町内小学校に4学級、中学校2学級の特別支援学級を設置し、指導の充実を図ってまいります。特別支援教育支援員は昨年同様の4名で各学校の実態に即した支援体制の推進に努めてまいります。また、今金高等養護学校の専門的な指導や助言により、一人一人のニーズに応じた指導に努めてまいります。

6生徒指導体制の推進

児童生徒が自ら進んで学習課題に取り組む指導がされるよう努めるとともに、いじめや不登校の未然防止を基本に、心の教室相談員の配置による相談体制の充実にも努めてまいります。

7小学校における国際理解教育の推進

国際交流アドバイザーを巡回させていますが、中学校と連動した体系的な英語教育の推進について町内教育関係機関とも協議し、研究を重ねてまいります。

8学校給食と食育（食農）ネットワークの推進

食に関する指導と学校給食の管理を一体のものとして職務する栄養教諭を本年4月より任用してまいります。学校給食については、地場産品を生かした献立の工夫や安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。また、昨年度文部科学省の指定を受けて実施した「今金町学校給食食育推進・地産地消プロジェクト」の定着と推進を図るために、様々な特色ある取組にも努めてまいります。

9健康・安全に関する指導と登下校時の安全対策確保

学校の実態に応じた防犯訓練や防犯教室等を計画的に実施し、安全指導の徹底を図ってまいります。また、登下校時の安全対策は、地域ぐるみの連携のもと安全で安心できる学校の確立に取り組んでまいります。

10幼稚園教育の推進

幼保一元化（認定こども園）については、昨年度、庁内に設置された「今金町就学前子育て支援施設庁内検討委員会及び作業部会」を中心に、就学前の子どもたちの一貫教育と幼・小の望ましい連携の在り方についても検討してまいります。

■生涯学習社会の実現と社会教育

1社会教育専門職員の充実

社会教育主事が激減している昨今ではありますが、地域の活性化には人材育成と教育機能を融合させる社会教育の重要性が増していることから、本町においては、社会教育主事の複数体制で地域課題に取り組んでまいります。

2家庭や地域の教育力の充実

学校と家庭・地域が連携して、基本的な集団生活の仕方などを推進してまいります。また、スポーツ少年団や子ども会、文化少年団など団体活動への参加奨励や豊かな経験をもつ高齢者との世代間交流を推進してまいります。

3芸術文化活動の推進

今金町総合文化祭が40回目の節目を迎えることから、北海道文化団体協議会の主催事業である「中国黒竜江省文化芸術交流使節団公演」の本町での開催に向け取り組んでまいります。

4子ども読書活動推進と「読み聞かせ」の推進

平成22年度本町を会場に「北海道子ども本のつどいINいまかね」が開催されます。今年度は第6回図書まつりをそのプレ大会として位置づけ、渡島・檜山の図書館（室）や図書ボランティアのネットワーク形成の為の中核的な役割を本町が果たしてまいりたいと存じます。

5国際交流の推進

国際交流アドバイザーによる町民英会話教室など、国際理解の機会提供に努めてまいります。また、中学生のニュージーランド派遣事業では、本年より派遣要件の設定や派遣選考委員会も組織することとし新たな取り組みも推進してまいります。

6生涯スポーツの振興

地域住民が主役となって、自ら運営・管理する「総合型地域スポーツクラブ」が本町の実態に即した中核的な組織設立となるよう取り組んでまいります。

7文化財保護の推進

ピリカ旧石器文化館及び文化財保管・活用庫、今金町地域特産品センターの3ヵ所を拠点に、学校教育・社会教育の両面から、郷土の歴史を学ぶ場として活用を図ってまいります。

以上、平成21年度における教育行政推進の基本的な考え方を申し上げましたが、町民の皆様の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。